

fff サンフレンズだより



祝・敬老の日

いつまでもお元気で過ごされるよう
お祈りいたします。



No.45 2008.9.20
発行：社会福祉法人 サンフレンズ
編集：法人本部 事務局
〒167-0023
杉並区上井草3-33-10
03-3394-9833

市民のつどいを開催いたしました

サンフレンズは、皆様とともに考え歩みながら、事業運営を行ってきました。今後も市民の立場で、地域福祉の構築に取り組みます。

そこで、特別養護老人ホームの現状と、在宅介護の重要性をご理解いただき、「自分自身の将来、家族の将来、そして誰もが自分らしく生きていくための杉並の福祉」を皆様とともに考えたく、9月14日（日）に市民のつどいを開催しました。その内容を、報告いたします。

第一部 基調講演

「高齢者介護の展望」と題して、理事長の大友信勝より講演がありました。講演では、都市部の急速な高齢化と一人暮らしの高齢者が増え続けていることから、その対策が緊急課題と訴えました。

理事長は、これらの課題に正面から取り組むこと、そして新たな都市型モデルの構築にむけて、当事者に寄り添い、地域に開かれた運営を行い、杉並区の高齢者福祉の促進を担うことが「サンフレンズの使命」と話しました。



<理事長 大友信勝の基調講演>

第二部 報告

「サンフレンズ善福寺の一年を振り返って」では、NPO法人新しいホームをつくる会理事の白

川すみ子さん（30年以上前に小規模多目的施設を発案したご本人）が、「必要なサービスが『適切に』『速やかに』『トータルに』届けられる地域福祉が求められている」ことを強調されました。



<新しいホームをつくる会理事 白川すみ子さんの報告>

サンフレンズ善福寺の職員は、スライドを使って入居者の生活の場面を紹介しました。

また、入居者のご家族である伊藤裕子さんからも発言をいただきました。入居当初は、医療の必要なお兄様のことがとても心配でしたが、現在は住居と日常生活が保障され、医療との連携を図りながら穏やかな生活を送っているとのことでした。

藤山施設長は、人材不足や経営難等の問題はあっても、入居者が楽しく生活を送っていただくために、職員全員で努力をしていきたいと話しました。

第三部 大正琴演奏会

和泉ふれあいの家大正琴クラブ「和泉大正乙女楽団」による演奏は、デイサービスのご利用者や職員の見事なパフォーマンスで会場は盛り上がり、アンコールでは会場全員で「上を向いて歩こう」を歌いました。それでも拍手は鳴り止まず、次の演奏会を約束して幕を閉じました。



＜和泉大正乙女楽團の演奏＞

第四部 パネルディスカッション

「自分らしく生きよう この杉並で！」では、利用者家族の紅松久江さんが、義父母の介護経験から「在宅生活を続けるために」必要なこととして、『近所の協力』『友人・知人のアドバイス』『プロの力』『夫の理解』を挙げました。これらを得たことで、余裕ができ、在宅生活が可能になったと話されました。

上井草園の笹川園長からは、「特別養護老人ホームの待機者」の報告でした。入所申込みが上井草園717名、サンフレンズ善福寺368名で、4割が入院中とのことです。また、最近ではショートステイの長期化傾向があり、待機者は厳しい状況にあると話しました。

東京ボランティア・市民活動センター副所長の安藤雄太さんは「杉並での福祉ネットワーク」に

ついて、ちょっとしたことでも気軽に行ける、身近な地域で『たまり場』のような場所をつくり、高齢者の孤立を防ぐ拠点の必要性を話されました。

杉並区保健福祉部高齢者担当部長の長田斎さんは「杉並区高齢者サービスにおける現状と今後の方針」について、施設整備とともに在宅生活を継続するための対策、特にショートステイと在宅を支えるチーム医療の必要性を認識しているとのこと。そして、介護保険だけでは解決できない部分を地域でつくっていくことが必要と話されました。

最後に、コーディネーターの金城大学准教授の朝倉美江さんが、「杉並で自分らしく生きるために、まずは自分が発言していくこと、そして、身近なネットワークで介護の孤立化をなくしていきましょう」と会場に呼びかけて、パネルディスカッションを終えました。



＜パネルディスカッションの風景＞

施設公開のお知らせ



＜永福ふれあいの家施設公開＞

施設公開は、サンフレンズを一人でも多くの方に知っていただきたい、そんな思いで毎年開催しています。期間中は、施設見学・事業の紹介・作

品展を全ての事業所で行います。その他、各事業所の特色を活かした楽しい催し物や、福祉車両の乗車体験なども計画しています。また、日頃、高齢者介護でお悩みの方のご相談も承ります。詳細は、日程表をご参照ください。



＜上井草ふれあいの家施設公開＞
注) 写真はいずれも昨年のものです。

施設公開の日程

事業所名／電話番号／所在地	期 間	主な催し物
①特別養護老人ホーム 上井草園 ②高齢者在宅サービスセンター 上井草ふれあいの家 ③杉並区地域包括支援センター ケア24上井草 ④サンフレンズ居宅介護支援センター 03-3394-1094 (代) 杉並区上井草3-33-10	10月26日(日) 11月2日(日)	介護の相談窓口。 10月26日(日) ウォークラリー(お土産付)、阿波踊り、 福祉車両乗車体験、模擬店を実施。
①高齢者在宅サービスセンター 和田ふれあいの家 ②サンフレンズ和田支援センター 03-3312-9556 杉並区和田3-52-4	11月17日(月) 11月22日(土)	介護の相談窓口。 大正琴、折り紙。
①高齢者在宅サービスセンター 和泉ふれあいの家 ②サンフレンズ和泉支援センター 03-3321-4808 杉並区和泉4-40-31	11月10日(月) 11月15日(土)	介護の相談窓口。 公開楽座・・・音楽、俳句、絵手紙、書道、 大正琴、折り紙、頭や身体を使うレクリ エーション、リハビリ体操、嚙下体操等 の楽座(プログラム)を公開。
①高齢者在宅サービスセンター 松ノ木ふれあいの家 ②サンフレンズ松ノ木支援センター 03-3318-2660 杉並区松ノ木2-14-3	10月27日(月) 11月1日(土) 秋祭り 11月2日(日)のみ 10:00～14:00	介護の相談窓口。 ご利用者の様子を写真で紹介。 上記催事も同時開催。 プログラム体験、コンサート、模擬店を 実施。 松ノ木学童クラブ父母会と合同開催。
①高齢者在宅サービスセンター 永福ふれあいの家 ②サンフレンズ永福支援センター 03-3327-5811 杉並区永福2-14-20	11月9日(日)	ご利用者の作品即売会。 音楽会、講演会。 福祉車両乗車体験。
①特別養護老人ホーム サンフレンズ善福寺 03-5303-0756 杉並区善福寺3-27-11	11月1日(土) 11月3日(月)	アートデリバリー・・・美術家、木谷安憲氏 による「みんなでつなげる紙芝居」。

この機会に是非、お越しくさせていただきますよう、心よりお待ち申し上げます。

なお、予定を変更する場合がありますので、詳細は、各事業所にてお問い合わせください。

法人への寄付金および物品等を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2008年7月1日から8月31日までにご寄付をいただいた順に掲載しております。

《寄付金》金子功子様・醍醐ミヨ子様・土井寿彦様・日本体育大学様・佐久間歌子様・株式会社鈴木組様・かずさや精肉店様・有限会社きくや青果店様・堀井薬局様・まるみ食品様・和泉一たかさご会様・和泉寿会様・小澤久子様・土田幸代様・有福修身様・四ツ橋昭子様・志村喜代隆様・上井草商店街振興組合様・井口喜一様・まるみ食品中島太吉様・藤井基男様・松田全旦様・特別養護老人ホーム上井草園家族会様・匿名希望8名

《物品等》金子功子様・小平玲子様・姫野公様・臼井一夫様・横山数男様・有限会社ハーティケア様・飯田陽子様・栗原照子様・太田正子様・匿名希望12名

ボランティア紹介 第31回

ピンピンころりをモットーに

今回は松ノ木ふれあいの家の偉大なる貢献者、荒木美恵子さんをご紹介します。

荒木さんは、ご主人が松ノ木ふれあいの家に通所されていたことがご縁で、ボランティア活動が始まりました。あれから、3年6か月が経ちますが、86歳の健康優良女性は、めったに風邪もひきません。性格は、努力家で自分には厳しく、他人には優しい方で、ご利用者から絶大な信頼を得ています。ここで荒木さんの人柄を現わすエピソードを3つご紹介します。

エピソード1. 車の免許は、50歳で取得、近所の方が困っていると通院などを手伝い、その人柄を慕って松ノ木ふれあいの家に通所を決めた方もいる程です。

エピソード2. 松ノ木ふれあいの家にはビーズクラブがあります。荒木さんは難しい作品に挑戦しながら、ご利用者を支えています。去年の秋祭りでは、夜なべまでして制作に貢献されました。



＜手作りビーズは、みなさんに大好評＞
手前中央が荒木さん

エピソード3. 荒木さんは大変な娘さん思いで

す。娘さんもボランティアとしてピアノ演奏に来てくださいますが、帰りは必ず、荒木さんが娘さんを送ります。



＜娘さんと「はい、チーズ」＞

荒木さんは、「他の人に迷惑をかけず、人生最期まで元気に生きたい」と長野県佐久市に祭ってある「ピンピンころり地蔵」を信心しています。荒木さんのいつも持ち歩いているお地蔵様の神々しく優しい顔が、荒木さんの笑顔と重なります。

私達は、いつまでも現役で「皆の頼りになる荒木さん」でいて欲しいと願っています。

そして、これからも優しい笑顔で松ノ木ふれあいの家に元気を与えてください。よろしく願いいたします。

サンフレンズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話 : 03 (3394) 9833

FAX : 03 (3394) 9834

担当 : 財部(たからべ)・河野

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス

kamiigusa@3friends.or.jp